

## JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業のご応募を検討される企業様向けのオンライン研修(Day1 入門編)

開催日時	7月4日(火) 13:00~17:20
研修名	Day1 入門編「開発途上国でのビジネス展開の魅力と可能性」
主な対象企業様	開発課題解決に資する製品/技術/サービスをお持ちで、開発途上国でのビジネス展開を志向する企業様
到達目標	開発途上国でのビジネス展開の実態を辞し、自社製品の貢献可能性を理解する

以下、各講義詳細

### 1コマ目

講義名	開発途上国でのビジネス展開の実態とポテンシャル		
講師・登壇者	有限責任監査法人トーマツ 竹内 知成		
時間	13:00~14:00		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発途上国ビジネスの魅力やポテンシャル、実態を知る</li> <li>企業様の今後の事業戦略策定において開発途上国への進出を検討するための情報収集のヒントを理解する</li> <li>開発途上国ビジネスへの第一歩を踏み出す意思決定のためのヒントを理解する(経営層や株主への説得方法)</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
13:00~13:05	5分	本研修の目的	セミナー形式
13:05~13:40	35分	途上国における人口増加や購買力の向上、携帯電話普及率の増加、リバースイノベーションなど、魅力を事例を交えて紹介	
13:40~13:50	10分	Q&A	
13:50~14:00	10分	参考図書やWebサイトの紹介	

### 2コマ目

講義名	開発途上国でのビジネス展開の事例(体験含む)		
講師・登壇者	キャスタリア株式会社 山脇 智志 株式会社Sun Asterisk 広瀬 光 有限責任監査法人トーマツ 竹内 知成		
時間	14:10~15:40		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲストスピーカー(開発途上国でのビジネスを実践する企業様)より、生の声と体験談を聞き、開発途上国ビジネスの実態や魅力について理解する</li> <li>開発途上国でのビジネスをより具体的にイメージできるようになる</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
14:10~14:20	10分	本研修の目的	セミナー形式
14:20~14:45	25分	企業様登壇①キャスタリア株式会社事例紹介(Q&A含む)	
14:45~15:10	25分	企業様登壇②株式会社Sun Asterisk事例紹介(Q&A含む)	
15:10~15:40	30分	パネル・ディスカッション	

### 3コマ目

講義名	開発課題と自社製品のマッチング		
講師・登壇者	有限責任監査法人トーマツ 竹内 知成		
時間	15:50~17:20		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例から、開発課題をビジネスで解決することの意義を理解する</li> <li>個人ワークを通じて、自社製品が開発課題解決に資する可能性やそのために何が必要かを認識する</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
15:50~15:55	5分	本研修の目的	セミナー形式 (個人ワーク有)
15:55~16:15	20分	SDGsとビジネスの関連性や事例紹介	
16:15~16:20	5分	個人ワークのインストラクション	
16:20~16:40	20分	個人ワーク①(練習)+解説	
16:40~17:05	25分	個人ワーク②(本番)+解説	
17:05~17:10	5分	まとめ	
17:10~17:20	10分	Q&A	

## JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業のご応募を検討される企業様向けのオンライン研修 (Day 2 基礎編)

開催日時	7月7日 (金) 13:00~17:20
研修名	Day2 基礎編「中小企業・SDGsビジネス支援事業の特徴と活用方法」
主な対象企業様	開発課題解決に資する製品/技術/サービスをお持ちで、中小企業・SDGsビジネス支援事業（以下、本事業）の活用方法を知りたいとお考えの企業様
到達目標	本事業の特徴や活用方法を理解する

以下、各講義詳細

### 1コマ目

講義名	JICAの特徴と開発途上国でのビジネス展開における強み		
講師・登壇者	独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 参事役 兼 計画・連携企画課長 片井 啓司 有限責任監査法人トーマツ 竹内 知成、鎌田 滋彦		
時間	13:00~14:00		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>JICAやODA事業、途上国に関する概要を理解することで、途上国へのアプローチ方法の全体像を理解する</li> <li>JICAやODA事業、途上国に関する概要を理解することで、途上国へのアプローチ方法の全体像を理解するJICAの事業内容や途上国におけるリレーション/ネットワークを理解することで、自社の途上国進出戦略において、JICAをどう活用すればいいのか理解する</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
13:00~13:05	5分	本研修の目的	セミナー形式
13:05~13:40	35分	JICA概要と民間企業との連携事例紹介	
13:40~13:55	15分	Q&A	
13:55~14:00	5分	参考Webサイトの紹介	

### 2コマ目

講義名	本事業の提供価値と現地ニーズに合わせた製品・サービスの検討		
講師・登壇者	独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 計画・連携企画課 石田 美帆 独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 企業連携第二課 本村 公一 独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 企業連携第一課 肝付 直也 独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 企業連携第一課 五十嵐 沙織 有限責任監査法人トーマツ 鎌田 滋彦		
時間	14:10~15:40		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の海外展開支援事業と比較した本事業の特徴や提供価値を理解する</li> <li>途上国進出を行う上で現地のニーズに合わせた製品を検討することの重要性を理解し、ニーズの確認やビジネス化に向けて「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を活用するイメージをつける</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
14:10~14:15	5分	本研修の目的	セミナー形式 (個人ワーク有)
14:15~14:30	15分	中小企業・SDGsビジネス支援	
14:30~14:45	15分	事業の概要	
14:45~14:55	10分	企業による中小企業・SDGsビジネス支援事業の活用事例	
14:55~15:20	25分	市場調査の重要性	
15:20~15:30	10分	個人ワーク	
15:30~15:40	10分	他の支援事業と比べた特徴	

### 3コマ目

講義名	本事業の活用事例 (体験談含む)		
講師・登壇者	キャスタリア株式会社 山脇 智志 RCソリューション株式会社 関根 大 有限責任監査法人トーマツ 竹内 知成		
時間	15:50~17:20		
研修の狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>民連事業スキームの活用事例と体験談を聞くことで、民連事業を魅力と企業の生の声を理解し、自社事業での活用イメージをつける</li> <li>パネルディスカッション(Q&amp;A)の場を活用し、中小企業・SDGsビジネス支援事業に関する不明点を解消する</li> </ul>		
<b>タイムテーブル</b>			
時間	ラップ	内容	形式
15:50~16:00	10分	本研修の目的	セミナー形式
16:00~16:25	25分	過去にJICA民連スキーム活用した企業による事例紹介	
16:25~16:50	25分	過去にJICA民連スキーム活用した企業による事例紹介	
16:50~17:20	30分	パネルディスカッション (参加者からの質問事項を基に進行)	

JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業のご応募を検討される企業様向けのオンライン研修 (Day3 実践編)

開催日時	7月10日(月) 13:00~17:20
研修名	Day3 実践編「開発途上国でのビジネスの事業計画立案と中小企業・SDGsビジネス支援事業応募時の企画書の書き方」
主な対象企業像	開発課題解決に資する製品/技術/サービスをお持ちで、具体的に企画書の書き方を知りたいとお考えの企業様
到達目標	開発途上国でのビジネス計画の立案方法や応募時の企画書の書き方を理解する

以下、各講義詳細

1コマ目

講義名	開発課題に即した事業計画立案方法		
講師・登壇者	有限責任監査法人トーマツ 中根 望		
時間	13:00~14:30		
研修の狙い	・開発途上国における開発課題と紐づくビジネスの立案方法を理解する		
タイムテーブル			
時間	ラップ	内容	形式
13:00~13:05	5分	本研修の目的	セミナー形式 (個人ワーク有)
13:05~13:15	10分	講師紹介	
13:15~13:40	25分	事業開発プロセスの全体像	
13:40~13:55	15分	開発課題と紐づけた事業立案	
13:55~14:05	10分	個人ワーク①(ワーク+解説)	
14:05~14:20	15分	開発課題へのインパクトを可視化するロジックモデル	
14:20~14:30	10分	個人ワーク②(ワーク+解説)	

2コマ目

講義名	企画書の書き方と評価のポイント		
講師・登壇者	独立行政法人国際協力機構(JICA) 民間連携事業部 参事役 兼 企業連携第一課長 奥本 恵世 有限責任監査法人トーマツ 中根 望		
時間	14:50~17:20		
研修の狙い	・応募時の企画書の書き方を理解する		
タイムテーブル			
時間	ラップ	内容	形式
15:00~15:05	5分	本研修の目的	セミナー形式 (個人ワーク有)
15:05~15:20	15分	JICA 中小企業・SDGsビジネス支援事業の概要説明(募集形態、企画書の目的や位置づけ)	
15:20~15:50	30分	企画書の形式と評価のポイント(ニーズ確認調査、ビジネス化実証事業)	
15:50~16:20	30分	個人ワーク①~③(ワーク+解説)	
16:20~16:30	10分	企画書に挿入する為のビジネススキーム図の書き方	
16:30~16:45	15分	個人ワーク④(ワーク+解説)	
16:45~17:00	15分	その他のビジネススキーム資料サンプル	
17:00~17:20	20分	Q&A	